

監修にあたって

歯科衛生士は、歯科疾患の予防処置と保健指導および診療の補助を業務とし、生活者の口腔健康管理を推進していく職種です。

教育現場においては、国家資格を得るための教育、すなわち歯科衛生士国家試験出題基準や歯科衛生学教育コア・カリキュラムへの対応のみならず、より高度な知識や先進的な技術の教育とその習得が必要であり、「歯科衛生学」という体系化された教育を目指しているところです。

このたび、これらのニーズに応えるべく、日本初となる本格的な『歯科衛生学の辞典』が刊行されました。

内容的には、歯科衛生士に必要な 6,342 語（用語 5,296 語、同義語 1,046 語）を収録し、用語と同義語のすべてに外国語を記載。さらに、巻末付録として、用語の理解に必要な図表と、略語も含めた充実した欧文索引を掲載しています。

全国歯科衛生士教育協会における監修においては、掲載用語の適切性から用語解説の正確性まで、専門分野ごとに監修委員を増やし、約 1 年を要して検討させていただきました。その結果、歯科衛生士国家試験の学習から臨床の歯科衛生士業務までを完全にカバーした、幅広い知識と確かな技術が必要となる臨床の現場においても十分役立つ一冊となっています。

これからの歯科衛生士教育にとって、必要な知識を網羅していますので、本辞典が衛生士教育において幅広く活用されることを願っています。

2019 年 7 月

一般社団法人全国歯科衛生士教育協会 理事長
眞木 吉信

凡 例

1. 見出し語ならびに対応する外国語は青のゴシック体で表記し、その読みは黒のゴシック体で記した。
2. 専門用語・使用漢字は「平成 29 年版歯科衛生士国家試験出題基準」に準拠し、出題基準にない場合は、歯科衛生士教育で一般的に使用されている用語を使用した。
漢字の例) 蝕→蝕, 頬→頬, 剥→剥, 填→填, 嚢→嚢など
3. 見出し語は外国語の略称なども含めて五十音順に掲載した。
4. 長音符号「ー」は、その発音がア・イ・ウ・エ・オのいずれによるかによって、その音を示す仮名と同じ順に記した。
5. 一般用語や補足が必要な用語は、見出し用語の【】内に説明を追記した。
例) 安全域【薬物の】、計画立案【歯科衛生過程の】など
6. 外国語の人名は原則として欧文表記とした。
7. 細菌名のアルファベット表記についてはすべてイタリック体とした。
8. 薬品名は原則として一般名で表記した。例外的に商品名に®マークを付けて記した。
9. 同義語は「■」、関連語は「▶」で示した。
10. 見出し語にかかわる外国語表記に関しては、略称も含め、巻末の欧文索引でアルファベット順に引けるようにした。
11. 巻末付録として、解説の参考となる図表を掲載した。図表を参照するものは、解説文の終わりに【巻末図 1 参照】などと示した。

あ

アーカンサスストーン あーかんさすすとーん **Arkansas sharpening stone** ■
アーカンソーストーン, アーカンサス砥石

アーカンサス砥石 あーかんさすといし **Arkansas sharpening stone** ■
アーカンソーストーン, アーカンサスストーン

アーカンソーストーン あーかんそーすとーん **Arkansas sharpening stone** 手用スクレーパーの仕上げに用いる細かい粒子の天然砥石で、研磨作業時の潤滑にはオイルを使用する。■
アーカンサスストーン, アーカンサス砥石

アーチファクト あーちふあくと **artifact** 画像上で、さまざまな原因によって実際には存在しない像が生じること。

アーチフォーマー あーちふおーまー **arch former, arch forming turret** 角型のワイヤーに前歯部の彎曲をつけ、アーチワイヤーを複製するとき使用する。角線の太さに応じた溝にワイヤーを入れ、金属棒を回転させて屈曲する。トルクを付与できるものと、付与しないものがある。

アーチレングスディスクレパンシー あーちれんぐすていすくればんしー **arch length discrepancy** 歯の排列に利用する歯列弓長(アペイラブルアーチレングス)から排列に必要な歯列弓長(リクワイヤードアーチレングス)を引いた値で、永久歯を排列するための不調和量を示す。

アーチワイヤー あーちわいやー **archwire** エッジワイズ装置の矯正力を発現する前歯部が彎曲した形状のワイヤー。ブラケットやチューブを介し、歯に力を加える。さまざまな大きさの丸線と角線があり、ステンレス、コバルトクロム、ニッケル・チタンなどの特徴でできている。

■**ユーティリティアーチ**

アライン あーらいん **Ah-line, vibrating line** 「アー」と発音したときに軟口蓋と硬口蓋の境界にできる口蓋振動線。軟口蓋は、安静時には硬口蓋の後縁から下垂しているが、口を大きく開けて発音させると軟口蓋が挙上され、発音を中止するところからは元に戻る。この位置は可動部の最前方を示していることから、上顎義歯床後縁を設定するための基準となる。

RRS あーあるあーえす **rapid response system** 入院患者に危険な症状がみられたときに、あらかじめ決められた手順に沿ってバイタルサインを測定し、rapid response team の出動を要請し、診療科を越えて患者の安全を確保しようとするシステム。

RI あーあるあい **radioisotope** ■**放射性同位体**

rER あーるいーあーる **rough-surfaced endoplasmic reticulum** ■**粗面小胞体**

RSST あーるえすえすていー **repetitive swallow test** ■**反復唾液嚥下テスト**

RNA あーるえぬえー **ribonucleic acid** DNA上の遺伝情報を読み取り、タンパク質を合成する際のさまざまな役割を担う。役割により、メッセンジャーRNA、トランスファーRNA、リボソームRNAに分類される。DNAと異なり、チミンの代わりにウラシルが含まれる。■
リボ核酸

RNA ウイルス あーるえぬえーういるす **RNA virus** 核酸としてRNAを有するウイルス。二本鎖または一本鎖RNAをもち、さらに一本鎖RNAウイルスは、プラス鎖またはマイナス鎖ゲノムをもつ。増殖においては、RNA合成酵素が細胞質でつくられるため、RNAウイルスは基本的に細胞質で増殖する。

RMR あーるえむあーる **resting metabolic rate** ■**安静代謝率**

RGD 配列 あーるじーていーはいれつ **RGD sequence** 多くの細胞接着タンパク質に存在するアルギニン-グリシン-アスパラギン酸というアミノ酸配列のこと。この3つのアミノ酸よりなる配列が細胞表面のインテグリンによって識別され、細胞と接着する。骨シアルタンパク質、オステオポンチン、フィブロネクチン、ラミニンなどがこの配列をもつ。

RDA あーるでいーえー **radioactive dentin abrasion** 相対的象牙質摩耗値のことで、歯磨剤、歯面研磨剤の研磨性を表した数値。数値が大きいほど、研磨性が高いことを示す。粒子の大きさ、固さ、形状などが数値に影響する。■
RDA 値 あーるでいーえー **radioactive dentin abrasion** ■
RDA

RD テスト® あーるでいーえすと **RD test**®, **Resazurin disk test** ① 触膿原性細菌が菌

数を反映して酸化還元指示薬レザズリンの色調を変化させる性質を利用し、唾液を検体として、15分体温で培養し青色、青紫色、紅色の3段階の色調の変化から、② 触膿活性を判定する試験方法。■
レザズリン・ディスクテスト

RPI クラスプ あーるびーあいくらすぶ **RPI, RPI clasp** 近心レスト、隣接面板、1バーの3部分から構成される支台装置で、3者が互いに協働して支持、把持、維持の機能を発揮する。主に遊離端義歯症例の支台歯となる小臼歯に用いられる。

RBE あーるびーいー **relative biological effectiveness** ■**生物学的効果比**

IADL あいえーていーえーる **instrumental activities of daily living** 日常生活を送るうえで必要な動作のうち、日常生活動作(ADL)よりさらに応用した動作が必要な活動。電話の使い方、買い物、食事の支度、家事、洗濯、移動・外出、服薬管理、金銭管理の8項目で構成されている。■
手段的日常生活動作 ■
ADL, 生活援助

ISF あいえすえふ **interstitial fluid** ■**間質液**

IFN あいえふえぬ **interferon** ■**インターフェロン**

IFDH あいえふていーえいち **International Federation of Dental Hygienists** ■**国際歯科衛生士連盟**

IOC あいおーしー **intermittent oral catheterization** ■**口腔ネラトロン法, OE, 間欠的経口経管栄養法**

IQ あいぎゅー **intelligence quotient** ■**知能指数**

IgE 抗体 あいじーいーこうたい **IgE antibody, immunoglobulin E** 免疫グロブリンの一種で、I型アレルギー反応において、抗原の結合や肥満細胞へのIgE受容体を介した化学伝達物質の遊離に中心的な役割を果たす。

ICF あいしーえふ **International Classification of Functioning, Disability, and Health** 国際生活機能分類の略語。2001年5月、世界保健機関(WHO)総会で採択された人間の生活機能と障害の分類法。これまでのWHO国際障害分類(ICIDH)がマイナス面を分類するという考え方が中心であったのに対し、ICFは生活機能というプラス面からみるように視点を転換し、さらに環境因子な

どの観点を加えている。■**国際生活機能分類** ■
ICD-11

ICD-11 あいしーていーいれふん **International Classification of Disease** 世界保健機関(WHO)が作成する国際的に統一した基準で定められた死因および疾病の分類の第11版。正式名称は、疾病及び関連保健問題の国際統計分類(International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems)で、異なる時点や地域における死因や疾病構造の比較を行うことを目的としている。■
ICF

ICU あいしーゆー **intensive care unit** ■**集中治療室**

アイスマッサージ あいすまっさーじ **ice massage** 水を染み込ませ凍らせた綿棒などを用いて、奥舌部や軟口蓋、咽頭後壁などを刺激して、嚥下反射を誘発させる訓練法。

アイデラルーチ あいであるあーち **ideal arch** エッジワイズ法の最終段階で、歯を理想的に位置づけるための角型アーチワイヤー。患者の歯列に合わせて1st, 2nd, 3rd オーダー(水平的、垂直的、トルク)の屈曲を付与し、三次元的に歯を移動させる。

ITP あいていーびー **idiopathic thrombocytopenic purpura** ■**特発性血小板減少性紫斑病**

IP あいびー **imaging plate** ■**イメージングプレート**

IPC 法 あいびーしーほう **indirect pulp capping** ■**暫間的間接覆髄法, GCRP**

IP3 あいびーすーりー **inositol triphosphate** ■**イノシトール三リン酸**

IVRO あいぶいあーるおー **intraoral vertical ramus osteotomy** ■**下顎枝垂直骨切り術**

IVH あいぶいえいち **intravenous hyperalimentation** 中心静脈に高カロリーかつ高濃度の栄養剤を投与して、経静脈栄養の欠点を補おうとする栄養方法。鎖骨下静脈などからカテーテルを挿入し、栄養剤を点滴静注する。血管炎などの副作用を避けるために用いられる。

アウエルバハハ神経叢 あうえいるばはしんけいそう **Auerbach plexus** 消化管内の輪筋層と外縦筋層間に存在する神経叢で、粘膜筋板と蠕動運動を調節する。

あえぎ呼吸 あえぎこきゅう **gaspng respi-**

う

Widman 改良フラップ手術

ういどまんかいらょうふらつぷしゅじゅつ **modified Widman flap operation** 歯肉切開により全層弁を剝離、翻転し、歯周ポケット上皮の確実な除去と明視野での歯根面へのアクセスにより、炎症性肉芽組織と歯根面の確実な SRP を可能とするフラップ手術。 ■ Widman 変法フラップ手術 ■ フラップ手術

Widman 変法フラップ手術

ういどまんへんぼうふらつぷしゅじゅつ **modified Widman flap operation** ■ Widman 改良フラップ手術

ウイルス ういるす **virus** 代謝系をもたない、きわめて小さい感染性の微生物。主な特徴として、①生きた細胞に寄生して増殖する、② DNA または RNA いずれか一方の核酸をもつ、③細胞に感染するための殻（カプシド）をもつ、といった特徴がある。

ウイルス性口内炎

ういるすせいこうないん **viral stomatitis** ウイルスが原因で生じた口内炎のこと。単純ヘルペスや水痘帯状疱疹ウイルス、コクサッキーウイルス A など原因として多い。小水疱状で赤くたぐれ、びらんを呈する傾向がある。

ウイルス中和反応

ういるすちゅうわはんのう **viral neutralization test** ウイルスを含む検体と血清を反応させ、ウイルス感受性の細胞に感染させる。この感染が、血清中の中和抗体によって特異的に阻止されるかをみる反応。抗体の検出により、原因ウイルスの同定や病態の判定に有用である。

Wilson の彎曲

ういるそんのわんきょく **curve of Wilson** 歯列の咬合面のなす三次元的な彎曲（モンソン球面）を前頭面に投影した際にできる彎曲のこと。 ■ Wilson の彎曲 ■ スピーの彎曲

Wilson の彎曲

ういるそんのわんきょく **curve of Wilson** ■ Wilson の彎曲

ウェクスラー式知能検査法

うえくすらーしきちのうけんさほう **Wechsler intelligence scale** Wechsler D によって作成された、知的障害や発達障害、高次脳機能障害およびさまざまな精神科疾患に対する知能検査のこと。年齢に応じて 5～16 歳 11 か月を対象とした WISC (Wechsler

intelligence scale for children), 16～89 歳を対象とした WAIS (Wechsler adult intelligence scale), 2 歳 6 か月～7 歳 3 か月を対象とした WPPSI (Wechsler preschool and primary scale of intelligence) の 3 種類がある。

ウェッジ うえつじ **wedge** 成形修復材を填塞する場合に、V 字形または三角形のくさびを患歯と隣に挿入し、隔壁を歯頸部に密接固定させて修復材の逸出を防止する。材質には木製や光重合型の材料に用いるプラスチック製がある。 ■ くさび

ウェッジオペレーション

うえつじおべれーしょん **wedge surgery, wedge operation** ■ ウェッジ手術、くさび型切除手術

ウェッジ手術

うえつじしゅじゅつ **wedge surgery, wedge operation** 最後臼歯遠心部や無歯部に面した隣接歯の深い歯周ポケットを除去するために行う歯周外科手術。一般に、隣接部の厚い歯肉へのくさび型切開を行い、内面の余分な結合組織を切除することで歯周ポケットを除去する。 ■ ウェッジオペレーション、くさび型切除手術

ウエットボンディング法

うえつとぼんていんぐほう **wet bonding method** コンポジットレジン修復での象牙質接着法の一つ。歯面処理後の乾燥を緩やかにし、象牙質コラーゲンの膨潤下でボンディング材を浸透させ、接着力向上を目的としたもの。

ウェルナー症候群

うえるなーしやうこうぐん **Werner syndrome** 早老症の一種の常染色体性遺伝病。成人期以降に発症し多数が 50 歳頃までに死亡する。軽度の糖尿病を特徴とする。わが国で見られることが多いが、全世界で 1,200 症例程度が報告されている。 ■ 早老症

ウェルビーイング

うえるびーいんぐ **well-being** 1946 年の世界保健機関 (WHO) の健康を定義する記述のなかで用いられた用語。人間が生きていくうえで、健康で幸せな状態、満足できる状態、身体や心が健康、環境のすべてが健康であることで良好な状態は保たれる。

ウォーキングテクニク うおーきんぐてくにつく **walking technique** ■ ウォーキングプロービング

ウォーキングプロービング

うおーきんぐぶろーびんぐ **walking probing** プローブ

を上下に動かしながら、歩くように少しずつ移動させる動かし方のこと。 ■ ウォーキングテクニク

ウォータージェット

うおーたーじえつと **water jet** ■ 口腔洗浄器

Waters 投影法

うおーたーずとうえいほう **Waters' projection** 頭部エックス線撮影法の一つ。上顎洞の観察に適しており、歯性上顎洞炎などの上顎洞疾患の診断に利用される。

ウォッシャーディスインフェクター

うおつしやーでいすいんふえくたー **washer disinfecter** 使用済みの器具類を高水準消毒まで処理できる医療用洗浄器。強力水流による洗浄から消毒、乾燥まで自動的に行うことができる。熱水によって洗浄するため、消毒薬など生体に対して毒性をもつ化学物質の残留がない。

う窩

うか **caries cavity, decayed cavity** う蝕原性菌によって形成されたブラークが歯面に付着し、菌が産生した有機酸でブラーク内の pH が低下すると、歯質が脱灰され、実質欠損が生じる。これをう窩という。 ■ う窩の開拓 **うかのかいかく opening of caries cavity, opening of decayed cavity** う蝕に罹患した歯質を除去するため、う窩の入口を切削して広げること。

う蝕

うしょく **idental caries, tooth decay** 歯周病と並ぶ歯科の二大疾患の一つ。口腔内に存在する細菌が産生した酸によって歯質が脱灰され、その結果生じた実質欠損のことである。 ■ デンタルカリエス

う蝕円錐

うしょくえんすい **carious cone** う蝕病巣が拡大進行する際にみられる円錐状の形態。エナメル質の小窩裂溝う蝕では、尖端を外側に、底面を象牙質に向けた形態、平滑面う蝕では、尖端を象牙質側に、底面を外側に向けた形態である。象牙質う蝕では、尖端を歯髄側に、底面を外側に向けている。

う蝕活動性

うしょくかつどうせい **caries activity, caries risk** う蝕が発病する危険性と、現在のう蝕が進行する可能性を示す。将来の脱灰と脱灰進行のリスクとなる。カイスの 3 つの輪、すなわち微生物、宿主、食餌性基質の要因がその因子となる。 ■ カリエスリスク

う蝕活動性試験

うしょくかつどうせいしけん **caries activity test, dental caries activity**

test ある時点の個人もしくは対象歯のう蝕発症のリスクもしくはう蝕進行のリスクを判定する試験。う蝕活動性を簡便な方法でスクリーニングできるが、う蝕は多要因疾患であるため、評価は総合的に行う必要がある。 ■ カリエスリスクテスト

う蝕感受性 うしょくかんじゅせい **caries susceptibility** う蝕のかりやすさを示し、新規う蝕の発生と現存う蝕の進行の両方に影響する。歯の石灰化度、結晶性が低い場合、また、唾液の分泌量や緩衝能、糖質のクリアランス能、再石灰化能が低い場合、う蝕感受性は高くなる。

う蝕経験

うしょくけいけん **caries experience** う蝕は発病すると自然治癒を望みずに蓄積性に増えていく疾患であることから、う蝕を処置しても、う蝕経験があるとすると統計特有の考え方。

う蝕原因菌

うしょくげんいんきん **cario-genic bacteria** う蝕の主因となる口腔細菌。 *Streptococcus mutans*, *Streptococcus sanguis*, *Streptococcus salivarius* などのレンサ球菌や放線菌、乳酸菌など多くの口腔細菌が含まれるが、*Streptococcus mutans* が最も重要視されている。

う蝕好発部位

うしょくこうはつぶい **predilection sites of dental caries** 乳歯、永久歯でう蝕に罹患しやすい歯面のこと。裂溝が複雑な咬合面、清掃しづらい隣接面、萌出時には成熟しておらず頬粘膜や舌に邪魔されて清掃しづらい歯頸部に多い。自浄作用が働きにくい不潔域にみられ、歯種や年齢によって変化する。

う蝕侵襲

うしょくしんしやう **caries attack** う蝕が発症した状態。う蝕侵襲は段階的に、歯の表層下の不可逆的な脱灰に始まり、エナメル質の実質欠損、象牙質の脱灰・感染、歯髄と口腔の交通・歯髄の感染と進行する。

う蝕象牙質

うしょくそうげしつ **carious dentin** う蝕の原因となる細菌の影響を受けた象牙質の総称。細菌感染が及んでいる象牙質をう蝕象牙質外層といい、検知液に濃染し、削除する層。細菌感染はないが、生体の防御反応を示すのが象牙質内層で、保存する層。

う蝕抵抗力

うしょくたいこうせい **caries resistance, caries resistibility** う蝕にかかりにくい性質。歯質の脱灰されにくさで決定する。う蝕経験歯数がない者でも

永久歯	
① Zsigmondy/Palmer法	$\frac{8\ 7\ 6\ 5\ 4\ 3\ 2\ 1}{8\ 7\ 6\ 5\ 4\ 3\ 2\ 1} \mid \frac{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7\ 8}{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7\ 8}$
② FDI法	$\frac{18\ 17\ 16\ 15\ 14\ 13\ 12\ 11}{48\ 47\ 46\ 45\ 44\ 43\ 42\ 41} \mid \frac{21\ 22\ 23\ 24\ 25\ 26\ 27\ 28}{31\ 32\ 33\ 34\ 35\ 36\ 37\ 38}$
③ ADA法	$\frac{1\ 2\ 3\ 4\ 5\ 6\ 7\ 8}{32\ 31\ 30\ 29\ 28\ 27\ 26\ 25} \mid \frac{9\ 10\ 11\ 12\ 13\ 14\ 15\ 16}{24\ 23\ 22\ 21\ 20\ 19\ 18\ 17}$

乳歯	
① Zsigmondy/Palmer法	$\frac{E\ D\ C\ B\ A \mid A\ B\ C\ D\ E}{E\ D\ C\ B\ A \mid A\ B\ C\ D\ E}$
② FDI法	$\frac{55\ 54\ 53\ 52\ 51}{85\ 84\ 83\ 82\ 81} \mid \frac{61\ 62\ 63\ 64\ 65}{71\ 72\ 73\ 74\ 75}$
③ ADA法	$\frac{A\ B\ C\ D\ E \mid F\ G\ H\ I\ J}{T\ S\ R\ Q\ P \mid O\ N\ M\ L\ K}$

図1 歯式

上下左右の歯を、永久歯では数字、乳歯ではアルファベットで示す Zsigmondy/Palmer 法や、コンピュータ入力を可能にする表示法として歯の位置と歯種を 2 桁の数字で示す FDI 法、ADA 法などが用いられる。

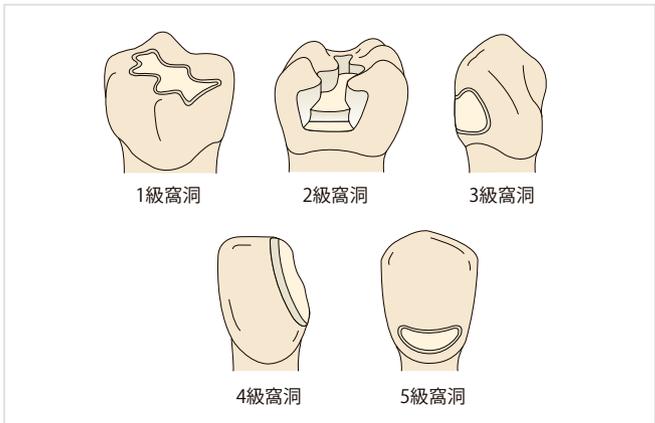


図2 Black の窩洞分類

窩洞の形成された歯面数、形成歯面の位置、形成歯面の状態および窩洞形態によって分類される。G.V.Black は、う蝕の好発部位とそれに対応する窩洞を 5 つに分類した。

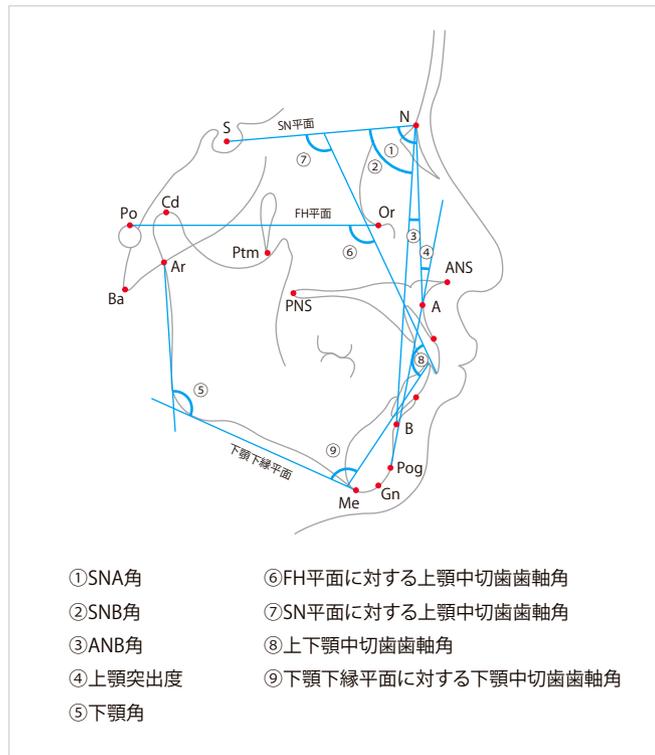


図3 セファロ分析 (基準点と基準平面)

セファロ分析として、Downs 分析法と Northwestern 分析法の 2 通りの代表的な分析法がある。前者は FH 平面基準、後者は SN 平面基準で、いずれも骨格系と歯系の双方の評価が可能である。

欧文索引

数字・ギリシャ文字

1 α , 25(OH)₂D₃ 25
 18 months old child dental check-up 27
 2% sodium fluoride solution 300
 2%NaF 溶液 300
 3 year old child dental check-up 162
 5 disease 5 project 146
 5-HT 241
 5-hydroxytryptamine 241
 8020 movement 316
 α receptor antagonist 21
 α 遮断薬 21
 α 半水石膏 21
 β -blocker 354
 β -lactam antimicrobial agent 354
 β -oxidation 354
 β 酸化 354
 β 遮断薬 354
 β 半水石膏 354
 β ブロッカー 354
 β -ラクタム系抗菌薬 354
 γ -aminobutyric acid 88
 γ -carboxyglutamic acid 88
 γ アミノブチル酸 88
 γ アミノ酪酸 88
 γ カルボキシグルタミン酸 88
 ω -3 fatty acids 46
 ω -6 fatty acids 46
A
 a method of rotary 413
 a system of rotary 413
 A-splint 41
 Aa 菌 41
 abfraction 18
 abnormal habit 14, 347
 abnormal number of roots 176
 abnormal pulpal horn 25
 ABO incompatibility reaction 118
 ABO-Rh blood type test 117
 about dietary guidelines 206
 abrasion 373
 abrasive point 18
 abscess 309
 absolute pocket 216
 absolute refractory period 238
 absorbable hemostatic 98
 absorbable membrane 98
 absorption 98
 absorption of nutrients 40
 abuse 97
 abutment build-up 184
 abutment preparation 184
 abutment tooth 25, 137, 183
 acceptable daily intake (ADI) 26, 41, 236
 access cavity preparation 220
 access hole 14
 accessory cusp 339
 accessory groove 338
 accessory point 367
 accessory ridge 340
 accessory root canal 339
 accident 14
 accident prediction training 92
 accidental ingestion 126, 146
 accidental pulp exposure 108
 accumulation 269
 acellular cementum 379
 acesulfame K 15
 acesulfame potassium 15
 acetaminophen 15
 acetylcholine 15
 acetylsalicylic acid 15
 acid 161
 acid decalcification theory 163
 acid production ability 162
 acid red 15
 acid-base balance 161
 acidulated phosphate fluoride solution 41, 163, 403
 ACLS 41
 acquired immunity 73
 acquired immunodeficiency syndrome (AIDS) 38, 140
 acquired pellicle 15, 73

acquisition stage of capture food at lip 366
 acquisition stage of chewing function 226
 acquisition stage of squashing function 57
 acquisition stage of swallowing function 50
 acromegaly 244
 acrylic resin 14
 acrylic resin base 407
 acrylic resin tooth 407
 act 364
 act concerning the promotion of community healthcare and caregiving 29
 act concerning the promotion of dental and oral health 169
 act on assurance of medical care for elderly people 143
 act on prevention of elderly abuse and support for attendants of elderly persons 143
 act on public health nurses, midwives and nurses 366
 act on securing quality, efficacy and safety of products including pharmaceuticals and medical devices 28, 388
 act on social welfare for the elderly 411
 act on support for persons with developmental disabilities 317
 act on the protection of personal information 146
 act on welfare of mentally retarded persons 269
 act on welfare of physically disabled persons 217
 ACTH 41
 actin filament 14
 actinomycosis 74
 action 140
 action potential 78
 activated C1 unit 77
 activation of swallowing

function 50
 activator 14
 active center 77
 active denture guidance 308
 active guide 14
 active immunity 308
 active occlusal guidance 308
 active oxygen 77
 active vitamin D 77
 activities of daily living (ADL) 41, 300
 acute action 99
 acute alveolar abscess 99
 acute apical abscess 99
 acute caries 99
 acute exposure 100
 acute infection 99
 acute inflammation 99
 acute intoxication 100
 acute periostitis 99
 acute poisoning 100
 acute serous apical periodontitis 99
 acute serous pulpitis 99
 acute simple apical periodontitis 100
 acute simple pulpitis 100
 acute suppurative apical periodontitis 99
 acute suppurative gingivitis 99
 acute suppurative pulpitis 99
 acyclovir 15
 Adams clasp 16
 adaptive behavior 281
 ADA 規格 41
 ADCC 41
 Addison disease 15
 additional fee for maintenance and management of oral function 131
 additional fee for the intervention to maintain oral intake in nursing home 114
 additional tooth 75
 additive effect 247
 adenoid cystic carcinoma 246
 adenoid hypertrophy 16
 adenosine 5'-triphosphate 17, 41
 Adenovirus 16
 adequate intake 382
 ADH 41
 ADHD 41
 adherence 17
 adherent plaque 341
 adhesin 17
 adhesive material 341
 adhesive monomer 238
 adhesive protein 238
 adhesive resin splint 238
 adhesive restorative material 238
 ADI 41
 adjacent tooth 403
 adjunctive oral hygiene devices 229, 367
 adjustable articulator 273
 adjuvant chemotherapy 195
 AIDS 38
 air abrasion 345
 air infection 108
 air polisher 189
 air scaler 38
 air syringe 38
 air turbine 38
 air turbine handpiece 38
 airtation 38
 airborne particle abrasion 345
 airway 38
 airway management 94
 airway obstruction 94
 airway pressure 94
 Akers clasp 41
 aldoosterone 20
 alertness 72
 alginate impression material 20
 algogenic substance 318
 alkali 20
 alkaline phosphatase 20
 all-ceramic crown 56
 all-in-one adhesive system 56
 allergen 21
 allergy 21
 alloy for inlay 33
 alpha calcium sulfate hemihydrate 21
 ALS 41
 alterative inflammation 359
 altered salivation 261
 alternate sugar 259
 alternating swallow 136
 alternative medicine 257
 alumina 21
 aluminosilicate glass 21